

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	インバウンド再開に向けた本県の認知度向上							
指標名	対象市場向けのSNS等のリーチ数						指標の種類	
指標式	各市場向けのSNS等のリーチ数の合計						成果指標 業績指標	
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
目標a			6,090,000	6,394,500	6,714,225	7,049,936	7,402,433	
実績b	6,839,738		データ等の出典					
東北			観光振興課調べ					
全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月								

指標名									指標の種類
指標式									成果指標 業績指標
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）									
指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度	
目標a									
実績b			データ等の出典						
東北									
全国									
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 外国人旅行者による観光消費額が本県経済に与える影響を踏まえ、持続的にインバウンド需要を確保していく必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 ヒアリングにおいて、インバウンド再開に向けた情報発信やプロモーションを求める声が県内関係者からあり、事業のニーズが高い。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

県内の自治体や企業が個別に現地で情報収集・発信を行うよりも、県が現地コーディネーターを設置し一元的に実施することで効率的・効果的な情報発信が期待できるため、県が実施する必要がある。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 その他